

赤こんりポート

山田恵美リポーター



懐かしくて 温かい まちの丸型ポスト

まちを歩いていると、丸型ポストに出会うことが多い気がしました。旧市街の歴史を感じる通りの中に、まちに寄り添うように風景に溶け込んで、懐かしさや温かさを感じさせてくれる丸型ポスト。手紙を出す機会は減ったけれど、丸型ポストを見ると誰かにふと、手紙を出したくなります。時代は移り変わっていくけれど、古きを守り、新しきを築いている。近江八幡の暮らしはそんな素敵な魅力にあふれていると思います。

赤こんりポート

馬場利男リポーター

地域の子どもが
「火の用心！火の用心！」と夜回り

金田学区鷹飼団地自治会・育成会・豊友会により、12月28日、三世代交流事業として地域の年末火災夜警が行われ、35人が参加しました。今年は事業内容が変わり、子どもたちは午後7時に自治会館に集まり、夜回りをする時間まで、紙芝居やマジックを楽しみました。夜回りでは、子どもたちは拍子木をたたきながら大きな声を出して、保護者や自治会役員と一緒に各家庭への火災予防を啓発。夜回り終了後は、自治会から軽食とお菓子がお礼として振る舞われていました。

赤こんりポート

東知樹リポーター



自然とデザインの調和

降った雪がまだ残る1月12日、午前中の早い時間帯にラ コリーナ近江八幡を訪れました。たくさんの人で活気に満ちた施設内には、映えを狙った写真を撮影できるような場所やモニュメントがあり、思う存分に撮影を楽しむことができました。また、自然も豊かで、季節によってさまざまな表情を見せてくれそうです。老若男女関わらず、散策なども楽しむことができるのではないのでしょうか。

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



正月遊びで言語を超えた交流

日本語交流教室たんぼぼでは、日本語学習の場として毎週土曜の夜にさまざまな国の人たちが集まります。12月21日はお楽しみデーとして、「福笑い」や「ぼうずめくり」などの正月遊びを全員で楽しみました。日本語学習者とひとくくりで言っても、来日したてでひらがなも読めない人から、大学講義レベルのコミュニケーションをとれる人まで十人十色。国籍や年齢、日本語レベル、さらには普段学習者と日本語講師ボランティアといった間柄の垣根も飛び越えてゲームで交流し、新たな友情も生まれていました。

1月7日

新年の防災を誓う
消防職員の出初式

東近江地域の2市3町を管轄する東近江行政組合消防本部が、小船木町の近江八幡消防署で出初式を行いました。

式典では、勤続表彰、業績表彰などが行われ、同組合の村田哲哉消防長が「地域住民の安全で安心な暮らしと、子どもたちの笑顔あふれる

明るい未来を全力で守り続ける」と誓いを新たにしました。その後の消防演技では、はしご車など10台の消防車両と32人の消防職員が、大規模地震の発生を想定して、高層ビルに取り残された人の救出や高所での消火活動を行いました。会場には近くの保育園児らや家族連れなど約80人が見学に訪れ、迫力のある訓練に大きな拍手を送っていました。

1月8日



木札に当たれ！「まじゃらこ」

毎年1月8日に行われる「まじゃらこ」(魔蛇羅講)は、神社の参道の木に取り付けた勸請縄の真ん中の木札に、子どもたちが石を投げ、割ることを競う行事です。

当日、地域の子どもたち約50人は、つるされた「天下泰平」と書かれた絵馬風の木札に向かい、約4メートル離れた位置から1人ずつ順番に石を投げました。木札を割った子どもは1年を元気に過ごすことができるといわれており、子どもたちは木札を割ろうと一生懸命、石を投げていました。今年は、老蘇小学校3年の坪田斗翔さんが木札を割り、「当たってうれしい。冬休みにインフルエンザになって外出できなかったので、今年1年元気に過ごしているところに行きたい」と抱負を話していました。

1月12日

5年ぶりに旧街道を練り歩く
江頭・十王の「子ども左義長」

新春の伝統行事「子ども左義長」が、江頭町・十王町で行われ、小学1年生から中学2年生までの15人の子どもたちが、左義長の山車かついで勇壮に町内を練り歩き、学業成就や五穀豊穰を願いました。この行事はコロナ禍により令和3年から中止されていましたが、伝統を守りたいと、令和6年10月に「十王町子ども左義長保存会」が有志により設立され、5年ぶりに再開に至りました。

日吉神社に集合した左義長は、「サギヤレ、チョウヤレ」の掛け声を上げたりしながら、旧街道(朝鮮人街道)や町内を元気に練り歩いていました。

令和7年度
赤こんりポーター
大募集！応募期間
2月28日(金)
まで

市民目線で地域の魅力やイベントの取材情報などをご紹介いただく、令和7年度の市民広報リポーター(愛称：赤こんりポーター)を募集します。

応募条件など、詳しくは市ホームページ(HP 12634)をご覧ください。



赤こんりポーターの投稿記事は市ホームページ(HP 12078)、または下記二次元コードからSNSをご覧ください。



Facebook



Instagram

ご応募お待ちしております！

申・問 秘書広報課 TEL (36)5526 FAX (32)2695

